

中二国語科通信

第2号
令和元年7月31日
担当
国語科2年
奥池・狭間



ひまわりの花びら一枚ひらきいて
「東はあちら」と指さしている

「二百字の獅子」始動――

一年生の時は、テーマに沿って自由に作文する「百字の獅子」を実施しました。二年生ではそこからさらにステップアップして、テーマに従ってまずは「ロジック・ツリー」を完成させ、それをもとに二百字の文章を作る「二百字の獅子」に取り組んでいます。

第一回のテーマは「宿題は必要か？」です。あなたたちの、というより、全国の学生の永遠のテーマであるかもしれませんね。今回は各クラス三作品ずつ紹介します。

「宿題の意味」

柳川修哉

宿題はする意味があるのか？と僕は思う。

例えば、テスト勉強をすると頭に入るが宿題だと入らないという人が多いと思う。その理由は、テスト勉強は覚えようとするが、宿題は、終わらせることしか考えていないからだ。そんな宿題を作ったり、したりするために、先生や僕たちは自由をうばわれているのだ。それだったら、もっと自分の好きなことをやった方がずっと良いと思う。

僕は改めて、宿題は意味がないと思った。

「宿題メリット」

坂田大海

私は宿題は必要だと思う。宿題は強制的にやらせていると考える人もいると思う。だが強制的にでもちゃんとやれば基礎を学べる。基礎が出来れば応用が出来る。さらに勉強の内容がわかれば授業などの発表も出来るようになり評価も上がる。

宿題は家でするものだ。もしわからないことがあれば親に聞けばいい。そうすれば家族と話が出来る。親と一緒に勉強をすれば話の内容も増える。

このように宿題をすればメリットがある。

「自主学習をするためには」

平山颯太

私はどちらかという宿題は必要だと思ふ。なぜなら、必ず勉強をしない人が出てくるからだ。しかし、多量の宿題を出せばいいというものではない。特にテスト前には、宿題に追われて対策ができなくなつては元も子もない。なのでテスト二週間前には最適な量の宿題を出す必要がある。最適な量の宿題であれば、成績が下がってしまう心配も自主学習ができなくなってしまう心配も無いのだ。これらのことから、私は宿題は必要だと思ふ。

「宿題は必要ではない」

伊達優花

私は、宿題は必要ではないと思ふ。なぜなら、家での時間に余裕が出来たり、自分のしたい勉強が十分にできるなどのメリットがあるからだ。逆に、宿題があると、家での時間に余裕が出来なかったり、自分のしたい勉強が十分に出来なかったり、プリントを出して燃やす事で二酸化炭素が増え、地球温暖化を進める事にも繋がるというデメリットがある。

この理由で私は宿題は必要ないと思ふ。

「宿題が無くなると」

眞田愛里

私は、国語で宅習の宿題が出されない日に、家であまり国語の勉強ができていない。もし、宿題が無くなつたら家での勉強を全くしなくなつてしまうかもしれない。

また、家で勉強をしなくなると、好きなことばかりをするようになり、そのうち学校までも面倒に思うようになると思う。そうなるってしまうと将来自分が困ることになるので、宿題は必要だ。

「愛すべきガキンチョたちへ」

狭間千穂

年々数回のこのコラムなのに、宿題に対する皆さんの熱い思いに押されてスペースがこんなに小さくなってしまいました。伝えたいことはいっぱいあるけど、またの機会にしようかな。

いよいよ夏休み。夏の思い出といえば、歯茎から血が出るほど歯磨きをした話……は、前にしましたね(笑)。最近本当に物忘れがひどくなり(というか、言葉がなかなか出てこない)、国語の教員としてどうなの？と思いついています。でも！体も脳もポロポロで、人生下り坂に差し掛かっているけど、私、毎日楽しんで生きてます！

愛すべき「ガキンチョ」たち！また二学期も、笑ったり泣いたり、血沸き肉躍る毎日で、私の脳の活性化に一肌脱いでくれない！

良い夏を――。

「悪いものではないが、必要無いと思う。」

吉田直弥

僕は、宿題は必要無いと思ふ。これからの社会において重要であるのは、物事に積極的に取り組む姿勢だ。しかし、宿題は受け身の勉強でしかない。宿題による自己満足により、積極性が失われてしまう可能性が懸念される。また、もともと勉強というものは私生活を豊かにするためのものだ。自分の興味のあるものを探究する、これが本当の勉強の姿だ。然し、宿題の影響で本当の意味を忘れつつある。理想は、自分から勉強することだ。